

発掘!!

土の中の都城

ひとつひとつになったまち、ひろがった歴史



平成18年の新市誕生から現在まで、市内各地で数多くの遺跡の発掘調査を行ってきました。この20年で、これまで謎に包まれていた私たちの祖先の暮らしや当時の環境などが調査によって解き明かされ、地域の歴史の見え方も大きく広がりました。本展では、市の発展とともに明らかとなった新しい都城の歴史を紹介します。

◎問い合わせ 文化財課

☎23-9547



都城インター工業団地高木北地区整備に伴う発掘調査現場(菅ヶ迫遺跡・菅ヶ迫第2遺跡)

ビックリ新発見！歴史を書き換えた遺跡たち

市内には、県内のみならず国内の歴史をひもとく上で重要な遺跡が数多くあります。特にこの20年間は、メディアなどで取り上げられるような遺跡が続々と発見されています。例えば山之口地区では、以前から「地下式横穴墓」の存在は知られていたものの、学術的な調査は未着手でした。しかし、令和2年の上平遺跡(山之口町山之口)の調査で、古墳時代の土坑墓と地下式横穴墓が1基ずつ発見され、同地区初の貴重な調査データとなりました。さらに、相原第1遺跡(山之口町富吉)では、同横穴墓が22基も発見され、都城盆地では古墳時代最古級のものであることが判明。南九州の古墳文化の歴史を見直す画期的な成果として、専門家からも高く評価されています。

最新科学と考古学

発掘調査は、現場での作業だけで終わりではありません。出土品に残る痕跡の観察や付着物の科学的な分析によって、現場では分からなかった新たな事実が判明することがあります。

私の顔を
見に来てね!



復顔模型

市では、令和2年度から6年度にかけて平成23年度に調査した菓子野地下式横穴墓(菓子野町)から出土した頭蓋骨をもとに、古墳時代の人の顔つきを復元する「復顔プロジェクト」を実施しました。その結果、当時都城盆地に暮らしていた人の顔をリアルに再現した復顔模型が完成。



大学教授による模型の監修作業の様子

●入館料 一般220円(160円) 高校生160円(110円) 小・中学生110円(50円) ※(一)内は20人以上の団体料金

●会期 9月27日(日)まで ※月曜日休館(祝日の場合翌日)

●開館時間 9時30分～17時 ※入館は16時30分まで

●開催日時 8月4日(火)～10日(月)

●体験内容 縄文土器の拓本体験など(要申し込み)

※詳しくは、市ホームページを確認ください



拓本を貼ったしおり (イメージ)

担当者イチ推し! 出土品紹介 文化財課には、普段は収蔵庫に眠っている個性的な出土品がたくさんあります。本展では、これまでの発掘調査で見つかった全出土品の中から(常設展示を除く)、担当者イチ推しの各時代の名品を紹介します。



江戸時代の陶磁器(八幡遺跡出土)

土器の文様付けに挑戦!

会場には、土器の文様付けを体験できる「施文体験コーナー」を設置します。

関連イベント

夏季体験学習会(無料) 「土器の拓本をとってみよう!」